

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎設備機器改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	谷口 光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	老朽化した庁舎設備機器の改修工事を実施する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	電気設備及び監視システム改修工事を完了する。
②①に基づく取組み結果	実施設計及び一部電気設備が故障したことによる改修工事の実施。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	市庁舎の設備機器については、老朽化が進み不具合が生じていることから改修を行うものである。
②事務事業の概要	市庁舎施設の改修工事を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できるようにする必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	電気設備の改修工事に係る実施設計と、故障に伴う電気設備の一部改修工事を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	改修割合		0	0	7	%	業務取得
	i						
	ii						
iii							
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	0	8,380	金額(千円)		内容	117,785	
国支出金(千円)			1,333	市庁舎電気設備改修工事設計委託			
県支出金(千円)			336	市庁舎設備監視システム改修工事設計委託			
市債その他(千円)		1,200	6,711	市庁舎電気設備改修工事		103,300	
一般財源(千円)		7,180				14,485	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化が進んでいることから、機器の交換がいつ発生するのか予測がつかず、発生した場合には復旧までに不測の時間を要する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	大規模な修繕等に関する長期的な展望を踏まえながら、日々の適正な維持管理の実施によって、施設の延命化を図る必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	実施設計書を作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	実施設計及び電気設備の一部回収工事の実施。	17,966	18,755	当初	12,044	8,380	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	8,380
③達成状況	未完了			補正	5,922			
④未完了・非着手の理由	本事業は平成26年度完了を予定している。			流用・充当	789			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎耐震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	233防災対策の強化	担当課室長	谷口 光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	来庁者の安全に配慮して施工するため、仮設計画等について十分な検討を行い、その内容を反映した実施設計を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	工事着手に向け関係部署と調整を行うことと、9月補正にて事業費を計上し工事を実施する。
②①に基づく取組み結果	来庁者の安全に配慮して施工するため、仮設計画等について十分な検討を行い、その内容を反映した実施設計を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	市庁舎の防災拠点としての整備を行い、施設の安全面の確保と利便性の向上を図る。
②事務事業の概要	市庁舎の耐震改修工事を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できるようにする必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	来庁者の安全性及び利便性に配慮した工事を実施するため、仮設計画について十分な検討を行い、その内容を反映した実施設計を行った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 改修割合			0	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	0	33,616	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			33,616	市庁舎耐震改修工事実施設計委託		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)		30,200			0	
一般財源(千円)		3,416			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	近い将来首都直下型地震が発生すると予想されていることから、1日でも早い耐震化が求められている					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	大規模な修繕等に関する長期的な展望を踏まえながら、日々の適正な維持管理の実施によって、施設の延命化を図る必要がある					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	実施設計書を作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	実施設計書を作成	0	49,590	当初	40,000	33,616	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	49,590		現年分	
③達成状況	未完了			補正	-40,000			
④未完了・非着手の理由	平成26年度9月補正後に事業費を計上し、工事を実施する			流用・充当	0			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		